



日本の双子の赤字と世界情勢

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

双子の赤字は、資金の流出を与えるものである。低金利は、海外の借入を与え、日銀における国債の購入は、国家の基盤の危うくするものである。

これらは国家財政の明らかな歪みであり、通貨政策において、国家経済と財政の健全化は唯一健全な国家運営を与えるものとする。

ここにおいて、我々からの新たな提案は、財政の健全化と世界と同等の金利政策、通貨変動への適正なコントロール、貿易赤字に対する国家の経済施策の要求を行うものである。

日銀における国債の買い入れが異常であることは周知である。これらが存在しないならば、国債の買い手が存在しないことは明白なのである。これらは明らかに国家財政の破綻を証明するのである。

そのため国家財政における赤字を長期的にゼロへ転換することが政治の合意として求められるはずであり、他方において、国家経済の健全化は、新たな時代要求における技術やシステムにおける自由貿易体制における貿易赤字の大幅な削減を産業の転換とともに提案できるものである。

経済における安全保障は、財政の健全性と産業の健全性を行うことは正しいはずである。これらは新たな政治における経済政策の要求であるとする。

また、現実と時代変化への現実認識における自国の産業政策の転換は可能であり、これらは既存の経済政策から、新しい判断と基準における経済施策の策定を提案できるものである。

韓国が自国経済への巨大資本における介入において彼らは服従したことは真実であり、これら現実には日本においても同様である。これらは、将来的に、自国経済政策を自己の回復することで、その独立性を行うべきであるという判断を与えるものである。

日本の経済という基盤は独立性や未来を求めることを可能とできるため、その相反する判断は、国家に存在し、これらは国家の制定という現実が政治判断を要求することを意味するものである。